

国産初

# メディカル・シューズが完成しました

すでにご案内のように、このかん私たちは、ドイツ整形外科靴技術に基づいた「日本人のための足の健康に良い靴」を、日本の靴メーカーの協力を得て開発・生産してきました。数年前までのエルデの靴は、私たちの師であるショットさんが20年近く前に開発し、ドイツから部材を取り寄せて日本のメーカーに生産委託していたショット・シューズの他は、すべてドイツ輸入靴でしたが、今では、ほとんどが日本のメーカーと協力して開発・生産した靴になってきています。

それでも、変形や麻痺等が強い方のための特殊な機能が要求されたり、特別な加工を施すことができるメディカル対応の靴は、どうしてもドイツ輸入靴に頼らざるを得ませんでした。そのため、「必要な時に必要なものがある」という状況は望むべくもなく、入荷を何ヶ月も待たなければならなかったり、やっと入荷したものが注文したものと違っていたりというようなことも珍しくなく、一番切実な方々への対処がどうしても後回しになってしまう現状に甘んじざるを得ませんでした。

そこで私たちは、「足の健康に良い靴」の開発・生産と並行して、何よりもメディカル対応の靴の国産化を重視してきましたが、従来の日本にはまったくなかった製品のため、実現までには予想以上の時間がかかりました。

このほど完成した靴は、これまで、リウマチによる変形のためにショット・シューズなどでは対応が困難な方たちに使っていたドイツ製のメディカル・シューズと同じ機能を有したのですが、デザイン的にはより親しみのもてるものに仕上がったのではないかと思います。

今後、このシリーズで、足首をホールドするブーツタイプ、部屋履きにも適したサンダルタイプ、等々、機能性と用途に応じた種々の製品化を進めて行くこととなりますが、この靴の開発に全面的に協力して下さったのが、福岡県久留米市にある有限会社マイスターの崎村正博さんでした。



崎村さんは、30年余り前に、ドイツの靴の街・ピルマーゼンスにある国立製靴学校を卒業し「シュー・マッハー・マイスター」の資格を取得された、日本人としては極めて貴重なオーソドックスな製靴技術者です。帰国後は、大手靴メーカーにおいて革靴生産事業の立ち上げに始まる20年に及ぶ技術指導を担われ、1995年に独立して「足に害を及ぼさない本物の靴」の開発・生産のために有限会社マイスターを設立されました。

このような崎村さんですので、私たちが必要とするメディカルな靴についても良く理解して下さい、細々した要望を入れて何度も試作を繰り返し、非常に完成度の高い、ドイツ製に勝るとも劣らない素晴らしい製品に仕上げてくださいました。

私たちとしても、日本で初めとあってよいドイツ整形外科靴技術に基づくメディカル・シューズの開発・生産が、ドイツの「シュー・マイスター」有資格者の協力によって達成されたということに、大変大きな喜びを感じています。

崎村さんの協力なしには、このような靴の国産化は、今後とも不可能だったと言っても過言ではないと思います。

これからは、崎村さんの協力によって、種々のメディカル・シューズはもちろんのこと、多様な「日本人向けの歩行具としての靴」の開発・生産が本格化して行くことでしょう。

魔法の靴を有難う御座居ました。  
靴をはくと30分位は杖をつかずに歩けます。  
バスにも乗れます(近いところまで)。  
散歩もしています。  
暑い日、寒い日は休みます。  
お会いして1年になります。早いですネー。  
本当にありがとう御座居ました。  
お礼が遅れて申し訳ありませんでした。  
白内障の手術をしたりいろいろとで、3月の終りからまだ病院に3ヶ所も行ってきます。  
右指先にシビレがあり、字を書くのが大変でわかりにくいと思いますけどお許し下さい。  
年の瀬も迫って何かとお忙しい毎日をお過ごしのことと思います。  
寒さに向かいますので、御身大切に、皆様よき新年をお迎え下さいませ。

## お便りありがとうございます

一昨年秋に、福岡県立大学での相談会でお会いし、靴を作製させて頂いた現在81歳の女性です。

○脚で両膝の痛みが強く、左膝が曲がらないため、杖をついて足を引き摺って歩いておられました。

その後お会いする機会がありませんでしたが、昨年末に、このようなご報告のお便りを頂きました。

杖をつかずに30分もお歩きになれるとのこと、良かったですね。

膝痛がおありの時も毎日欠かさず散歩をしておられるとのことでしたので、その前向きの姿勢が靴の効果を倍増させたのだと思います。

「魔法」ではなく、ご本人の努力の結実と言えるでしょう。